

# エスアールジータカミヤ株式会社


2015年3月期第3四半期 決算説明資料

－ 2015.2.16 －



**SRG Takamiya**  
SUPER RENTAL GROUP

## エスアールジータカミヤ株式会社 会社概要

商号	エスアールジータカミヤ株式会社	
設立	1969年6月21日	
代表者	代表取締役社長 高宮一雅	
資本金	6億9,721万円	
従業員数	連結：977名 単体：378名 (2014年12月末時点)	
登記本社	大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪 タワー B 27階	
営業拠点	<p>【支店】東北仙台、東京、名古屋、大阪、九州福岡 (計5)</p> <p>【営業所】盛岡、福島、鹿島、市原、北陸、京滋、四国、広島 (計8)</p> <p>【機材センター】青森東通、岩手盛岡、宮城仙台、宮城仙台第二、福島須賀川、新潟横越、茨城水戸、茨城出島、茨城鹿島、千葉大木戸、千葉市原、埼玉久喜、神奈川愛川、静岡吉田、石川金沢、東海木曾岬、滋賀近江八幡、大阪枚方、大阪摂津、大阪岸和田、和歌山桃山、兵庫東条、香川さぬき (計23)</p>	
連結子会社	ホリー(株)、ホリーコリア(株)、ホリーベトナム(有)、(株)キャディアン、(株)イワタ、(株)タツミ、(株)新建ナガキタ、(株)ヒラマツ、(株)SNビルテック、(株)青森アトム、(株)トータル都市整備、アサヒ工業(株) (計12)	
株式上場	<p>2005年05月 JASDAQ証券取引所 (注) 2008年1月 JASDAQ市場への上場は廃止しました</p> <p>2007年12月 東京証券取引所市場第二部</p> <p>2014年12月 東京証券取引所市場第一部指定</p>	

## 沿革

- 1969 6月 大阪市に(株)新関西を設立
- 1984 11月 東京都にエスアールジータカミヤ(株) (子会社) を設立
- 1987 12月 子会社のエスアールジータカミヤ(株)を吸収合併し、商号をエスアールジータカミヤ(株)とする
- 1990 3月 和歌山県に(有) イワタ (現・連結子会社) を設立
- 1994 7月 新潟県に(有) レンタルナガキタ (現・(株)新建ナガキタ) を設立
- 1994 8月 茨城県に(有) タツミ (現・連結子会社) を設立
- 1998 4月 大阪市に(有) テクノ工房 (現・(株)キャディアン) を設立
- 2004 10月 静岡県に(株)ヒラマツ (現・連結子会社) を設立
- 2005 2月 新ニチメン機材(株)より事業承継を受け東京都にSNビルテック(株) (現・連結子会社) を設立
- 2005 6月 JASDAQ証券取引所に上場 (証券コード: 2445)
- 2007 12月 東京証券取引所市場第二部に上場 (2008年1月 JASDAQ証券取引所上場廃止)
- 2008 10月 青森県に(株)青森アトム (連結子会社) を設立
- 2009 8月 (株)石島機材製作所 (現・(株)トータル都市整備、名古屋市) を連結子会社とする
- 2010 9月 ホリー(株) (東京都) を連結子会社とする
- 2011 9月 ホリー(株)の子会社であるホリーコア(株)を連結子会社とする
- 2014 3月 アサヒ工業(株) (大阪市) を連結子会社とする
- 2014 7月 ベトナム・ドンナイ省にホリーベトナム(有) (連結子会社) を設立する
- 2014 12月 東京証券取引所市場第一部指定

## セグメント説明

### レンタルセグメント

仮設機材レンタル	●SRGタカミヤ
地域営業	●伊ワタ ●新建ナガキタ ●タツミ
専門工事	●青森アトム ●SNビルテック ●トータル都市整備 ●アサヒ工業
運搬	●ヒラマツ
図面作成	●キャディアン

### 販売セグメント

仮設機材製造・販売	●ホリー ●ホリーコア ●ホリーベトナム
仮設機材新品・中古販売	●SRGタカミヤ 商事部

# 事業ドメインの変遷

## 【建築工事への足場レンタル開始】



**建築工事**  
機材：枠組足場  
ビル、マンション、学校、病院



## 【支保工材を保有、橋梁工事分野へ進出】



**橋梁工事**  
機材：支保工材  
高架道路、鉄道、橋



## 【事業買収により都市型土木分野へ進出】



**都市型土木工事**  
「SNビルテック」  
処理場建設工事への進出  
機材：パワーフレーム

(株)SNビルテック

## 【環境保全分野への第一歩】



**土壌改良工事**  
機材：フリーリードーム  
工場跡土壌改良



**スポーツ施設**  
テニス  
フットサルドーム



## 【防災・災害対策分野、将来に向け市場開拓】



**斜面防災工事**  
機材：YTロックシステム  
アンカー工、BH工



**建築・橋梁**  
昇降設備  
ワーゲン足場



## 【再開発による老朽化ビルの解体需要増加を見込む】



**解体工事**  
機材：防音パネル  
※以前は他社から転レンタル



# 事業ドメインの変遷 2

【改修工事用機材ストックを増加】



**維持補修工事**  
機材：改修工事用機材  
ビル・マンション改修

【足場施工の需要を見込み足場工事業へ本格参入】



**足場施工工事**  
営業本部内に工事部を設立  
足場工事を受注

【新築需要の減少、維持補修市場へ／次世代機材の導入】



**超高層建物建築・修繕**  
機材：リフトクライマー  
マンション大規模修繕

**橋梁・プラント**  
橋梁橋脚補修  
煙突解体

【専用機材センターを開設しプラント分野へ進出】



**プラント建設・修繕**  
市原、鹿島、川崎  
専用機材センターの開設  
(株)青森アトム設立

【パイプライン、共同溝、地下工事への参入】



**シールドトンネル工事**  
シールド用機材レンタル会社  
をグループ化

(株)トータル都市整備

【移動式吊足場で新市場を開発】



**橋桁補修**  
従来では対応できなかった  
橋桁改修工事機材を開発

【土木関連事業の強化】



**港湾・防潮堤建設**  
鋼製型枠レンタル・販売会社  
をグループ化

アサヒ工業(株)

# 事業ドメインの変遷 3



**レンタル事業**  
建築、橋梁土木、維持補修  
プラント、他、事業領域拡大

【ホリー株式会社を完全子会社化・製造販売事業へ進出】



**仮設機材製造販売**  
継手、落下防止安全機材  
クサビ式住宅用足場



**住宅用建材製造**  
木造住宅用構造金物  
OME住宅用制振装置

【製造コスト低減のための海外ネットワーク構築】



**海外生産拠点**  
ホリーベトナム設立  
一部機材製造をオフショア化

ホリーコアを含め2拠点体制へ



グループ海外事業準備室設立：グローバル化への準備

【グループ化によるシナジー創出】



**太陽光パネル・架台工事**  
太陽光発電所架台  
パネル設置工事

【太陽光パネル架台の開発・販売】



**太陽光パネル架台**  
家庭用、産業用  
太陽光発電所向け架台

【レンタルノウハウを開発に反映】



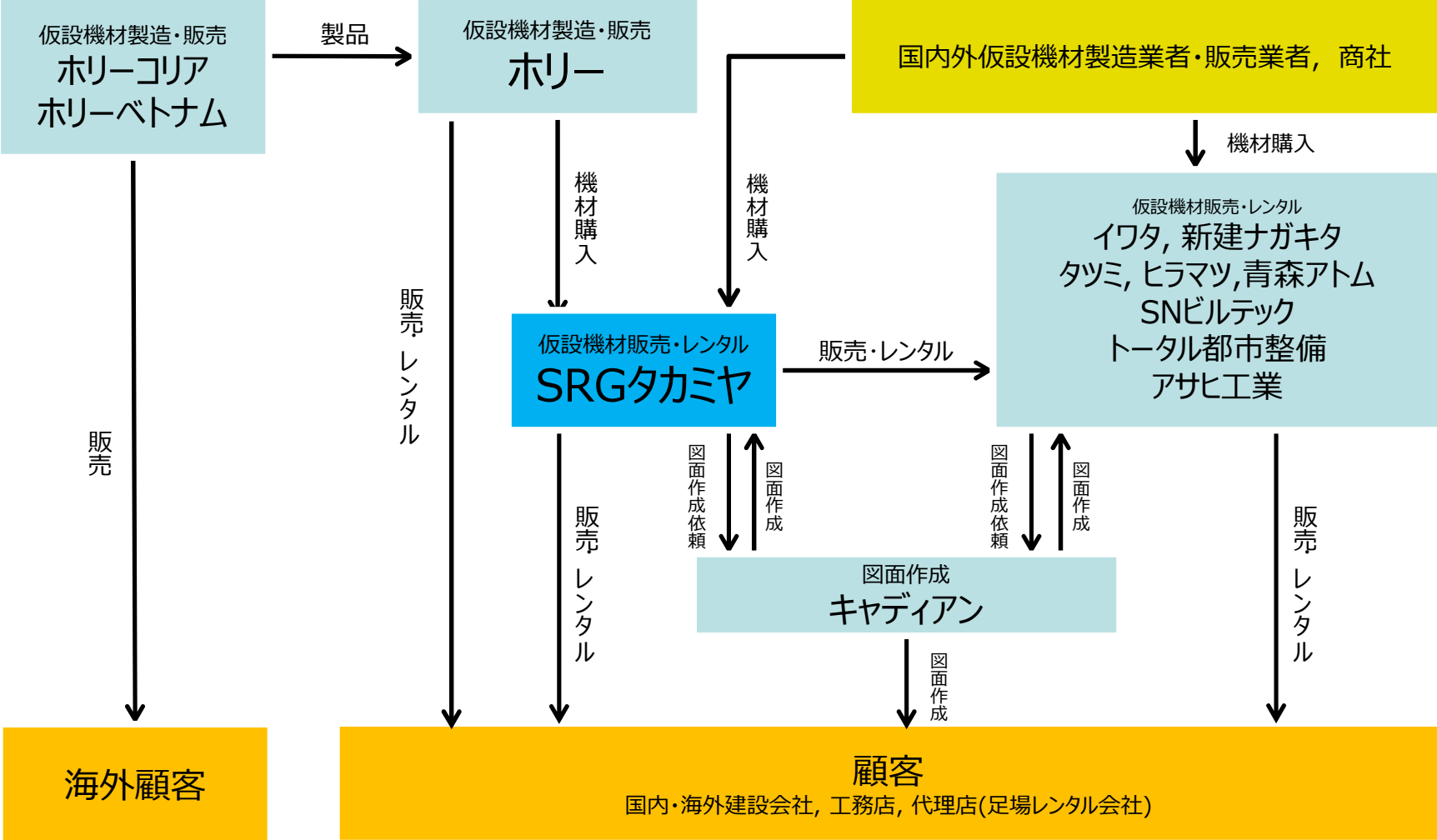
**システム足場製造販売**  
次世代足場「Iqシステム」

【オリジナル建材開発・製造販売】



**建材開発・販売**  
木造住宅  
制振装置「WUTEC-SF」

# 事業系統図





## トピックス

- **2014年11月 SRG Global Holdings Co.,Ltd. 設立**

海外事業の一層の強化及び効率化に向けた体制整備の一環としてタイに法人を設立致しました。

所在地：タイ王国バンコク市

資本金：5百万タイバーツ

出資比率：当社 49%、GCC SERVICES(THAILAND) Co.,Ltd. 51%

- **2014年12月 東京証券取引所市場第一部指定承認**

2014年12月5日をもちまして、当社株式が東京証券取引所市場第二部より同市場第一部銘柄に指定されることとなりました。



- **2014年12月 株式分割**

2014年12月31日を基準日として、普通株式1株につき2株の分割を行いました。

- **2015年2月 配当予想の修正（東証一部指定記念配当）**

東京証券取引所市場第一部銘柄指定を記念しまして、2015年3月期の期末配当金に1株当たり2円50銭の記念配当を実施することといたしました。この結果、2015年3月期の1株当たりの期末配当金は、普通配当の6円50銭と合わせ9円となる予想です。

## 連結業績（累計期間）

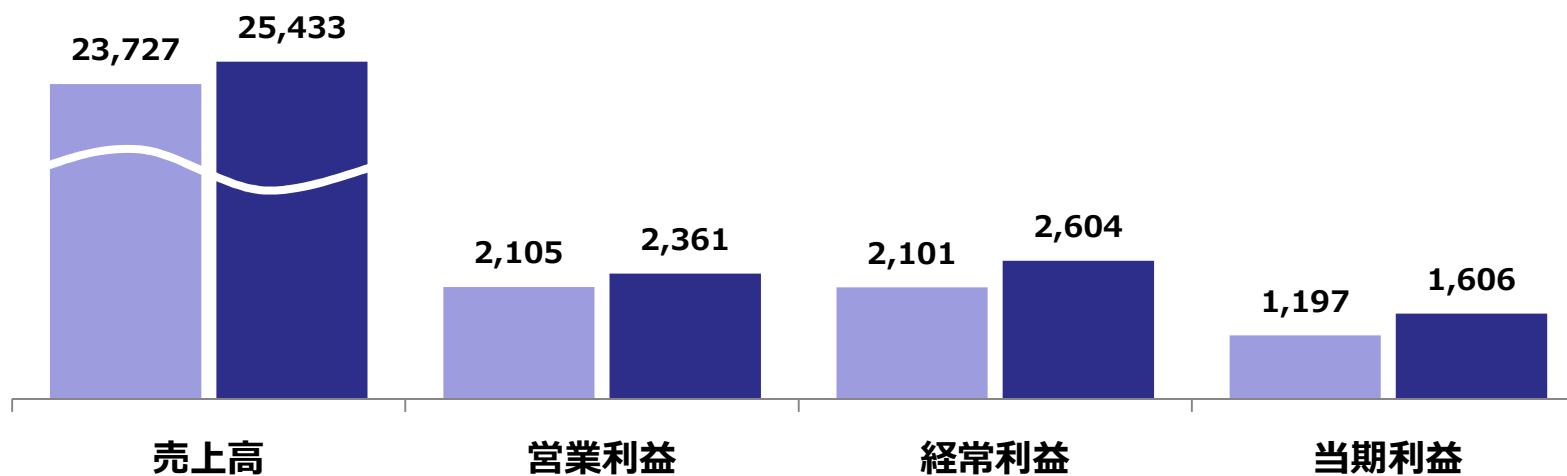
連結業績 (単位：百万円)	2015/3期 3Q予想		2015/3期 3Q実績		前期実績 (2014/3期 3Q)		対前年 増減率
		売上高比		売上高比		売上高比	
売上高	-	-	25,433	-	23,727	-	+7.2%
売上総利益	-	-	8,147	32.0%	7,108	30.0%	+14.6%
販管費	-	-	5,786	22.7%	5,002	21.1%	+15.7%
営業利益	-	-	2,361	9.3%	2,105	8.9%	+12.1%
経常利益	-	-	2,604	10.2%	2,101	8.9%	+23.9%
当期純利益	-	-	1,606	6.3%	1,197	5.0%	+34.1%
一株当たり純利益 (潜在株式調整後一株純利益)	-	-	35.86円 (34.64円)	-	27.33円 (26.43円)	-	-
一株当たり配当金	-	-	-	-	-	-	-
減価償却費 (CF計算書ベース)	-	-	2,679	10.5%	2,518	10.6%	+6.4%
EBITDA (利払い前・税引き前・減価償却前利益)	-	-	5,041	19.8%	4,624	19.5%	+9.0%

注) 「EBITDA」は、簡便的に“営業利益 + 減価償却費”にて算出しております。／第3四半期の業績予想は非公表です。  
 2015年1月1日付で1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期初に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純利益を算定しております。

# PL分析

単位：百万円

■ 2014/3期 3Q ■ 2015/3期 3Q



	売上高	営業利益	経常利益	当期利益
対前年増減	7.2%	12.1%	23.9%	34.1%
要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホリー仮設関連及びIqシステムの販売、従来品の中古売却が順調に推移</li> <li>・環境関連は太陽光発電関連の電力会社受け入れ保留の影響を受ける</li> <li>・土木用レンタル機材は工事着工遅れにより稼働が停滞</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・増収に伴う粗利益の増加</li> <li>・レンタル単価の改善</li> <li>・償却負担増などによる売上原価の増加</li> <li>・人員増に伴う人件費の増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・増収に伴う営業利益の増加</li> <li>・持ち分法による投資利益（太陽光発電所）</li> <li>・為替差益の計上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本社移転に伴う固定資産の売却益及び除却費</li> <li>・減損損失の計上</li> </ul>

## セグメント別実績 四半期推移（累計期間）

(単位：百万円)		2014年3月期				2015年3月期			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
レンタル 関連事業	セグメント売上高	3,697	7,955	12,705	17,375	4,224	9,102	13,906	—
	内、内部売上	69	142	241	315	72	157	226	—
	セグメント利益	124	611	1,369	2,019	283	953	1,535	—
	セグメント利益率	3.4%	7.7%	10.8%	11.6%	6.7%	10.5%	11.0%	—
(対前年増減率)	セグメント売上高	△1.0%	1.2%	5.0%	7.8%	14.2%	14.4%	9.5%	—
	セグメント利益	52.9%	49.4%	90.5%	102.4%	128.2%	55.8%	12.2%	—
販売 関連事業	セグメント売上高	3,713	7,630	12,546	17,178	4,669	9,922	15,049	—
	内、内部売上	465	837	1,283	1,794	896	2,506	3,295	—
	セグメント利益	524	1,040	1,491	2,045	570	1,462	2,011	—
	セグメント利益率	14.1%	13.6%	11.9%	11.9%	12.2%	14.7%	13.4%	—
(対前年増減率)	セグメント売上高	39.6%	32.7%	35.9%	27.5%	25.7%	30.0%	19.9%	—
	セグメント利益	176.9%	77.2%	35.6%	29.7%	8.6%	40.6%	34.8%	—
	売上高合計	7,411	15,585	25,252	34,553	8,894	19,025	28,995	—
	内、内部売上	534	980	1,525	2,110	968	2,664	3,522	—

## セグメント別実績 四半期推移 (会計期間)

(単位：百万円)		2014年3月期				2015年3月期			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
レンタル 関連事業	セグメント売上高	3,697	4,258	4,749	4,669	4,224	4,878	4,803	—
	内、内部売上	69	73	98	74	72	85	68	—
	セグメント利益	124	487	757	650	283	669	582	—
	セグメント利益率	3.4%	11.4%	15.9%	13.9%	6.7%	13.7%	12.1%	—
(対前年増減率)	セグメント売上高	△1.0%	3.3%	12.0%	16.3%	14.2%	14.6%	1.1%	—
	セグメント利益	52.9%	48.5%	145.1%	132.7%	128.2%	37.4%	-23.1%	—
販売 関連事業	セグメント売上高	3,713	3,916	4,916	4,631	4,669	5,253	5,126	—
	内、内部売上	465	372	445	510	896	1,609	788	—
	セグメント利益	524	515	451	553	570	892	548	—
	セグメント利益率	14.1%	13.2%	9.2%	12.0%	12.2%	17.0%	10.7%	—
(対前年増減率)	セグメント売上高	39.6%	26.8%	41.3%	9.1%	25.7%	34.1%	4.3%	—
	セグメント利益	176.9%	29.7%	△12.0%	16.2%	8.6%	73.2%	21.5%	—
	売上高合計	7,411	8,174	9,666	9,300	8,894	10,131	9,930	—
	内、内部売上	534	445	544	584	968	1,695	857	—

## 連結貸借対照表

(百万円)			
	2014/3	2015/3 3Q	増減額
流動資産	15,892	19,199	+3,307
固定資産	21,353	24,169	+2,816
有形固定資産	17,213	20,337	+3,124
無形固定資産	730	733	+3
投資その他の資産	3,408	3,098	-310
流動負債	15,356	18,754	+3,398
固定負債	12,130	13,521	+1,391
純資産合計	9,758	11,093	+1,335
負債及び純資産合計	37,245	43,369	+6,124

### 【資産の部】

#### 流動資産

商品及び製品／増加：1,453百万円（ホリ－棚卸資産）

その他／増加：758百万円（短期貸付金の増加）

#### 固定資産

賃貸資産（純額）／増加：1,683百万円

建物及び構築物（純額）／増加：411百万円

#### 投資その他の資産

投資有価証券／減少：145百万円

その他／減少：549百万円

### 【負債の部】

短期借入金／増加：2,308百万円

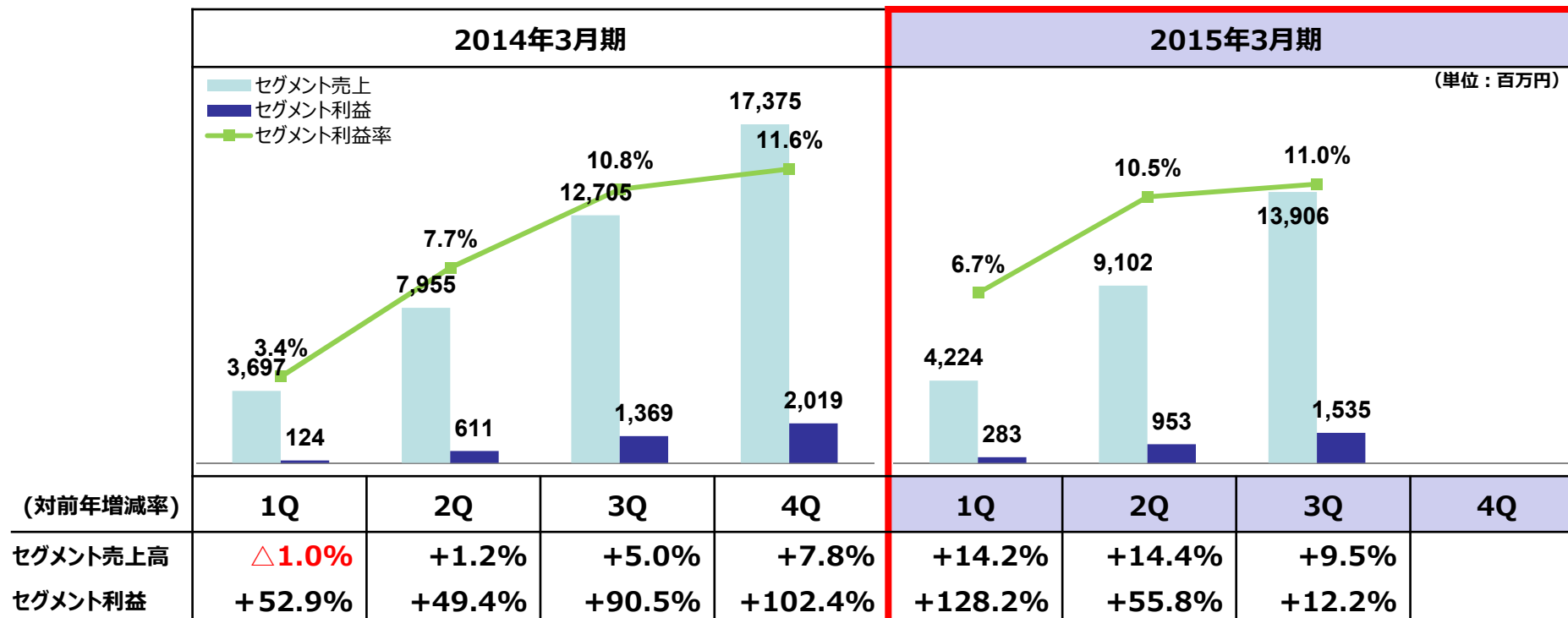
長期借入金／増加：1,473百万円

### 【純資産の部】

利益剰余金／増加：1,265百万円

新株予約権／増加：57百万円

## セグメント別売上高 / レンタル関連事業（累計期間）



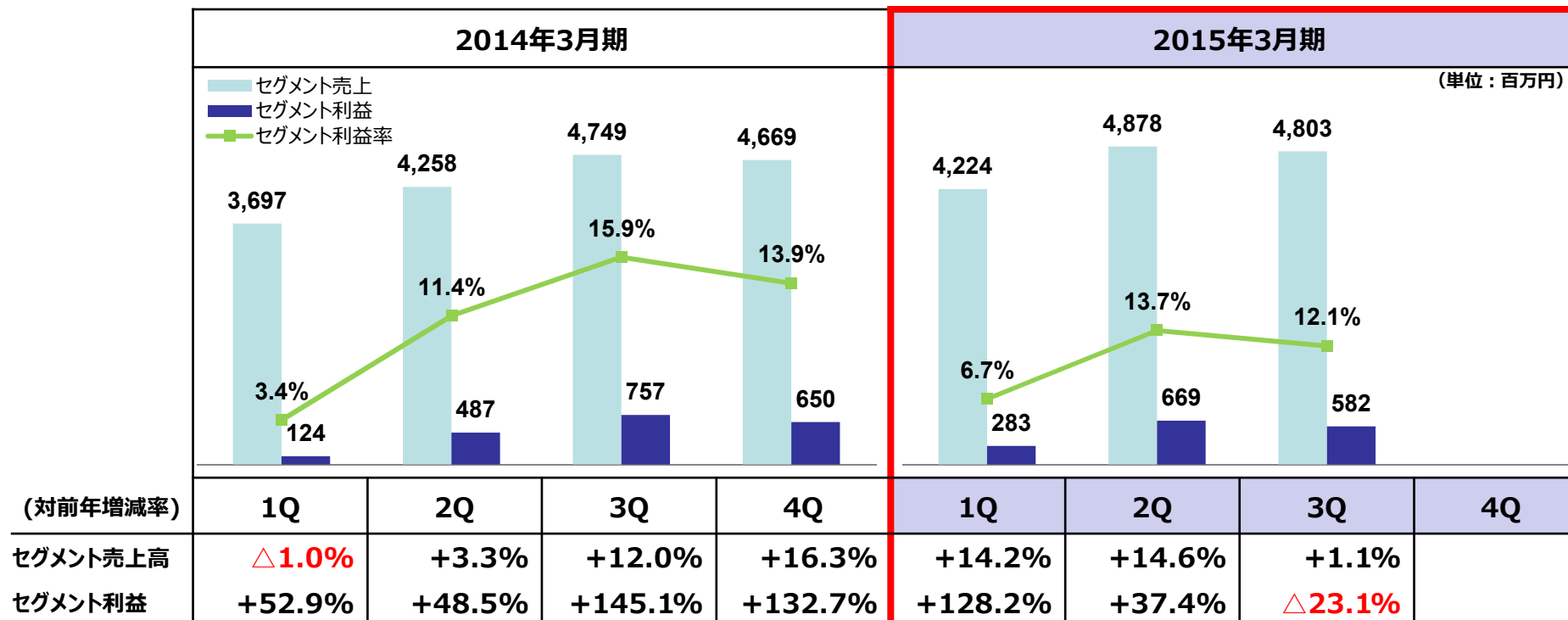
### 要因

大型土木関連工事の着工遅れにより、土木用仮設機材の出荷が立ち遅れる。

建築用仮設機材は高い稼働で推移するものの、土木関連の埋め合わせをするほどの伸びとはならず。一方で単価の改善傾向は続く。

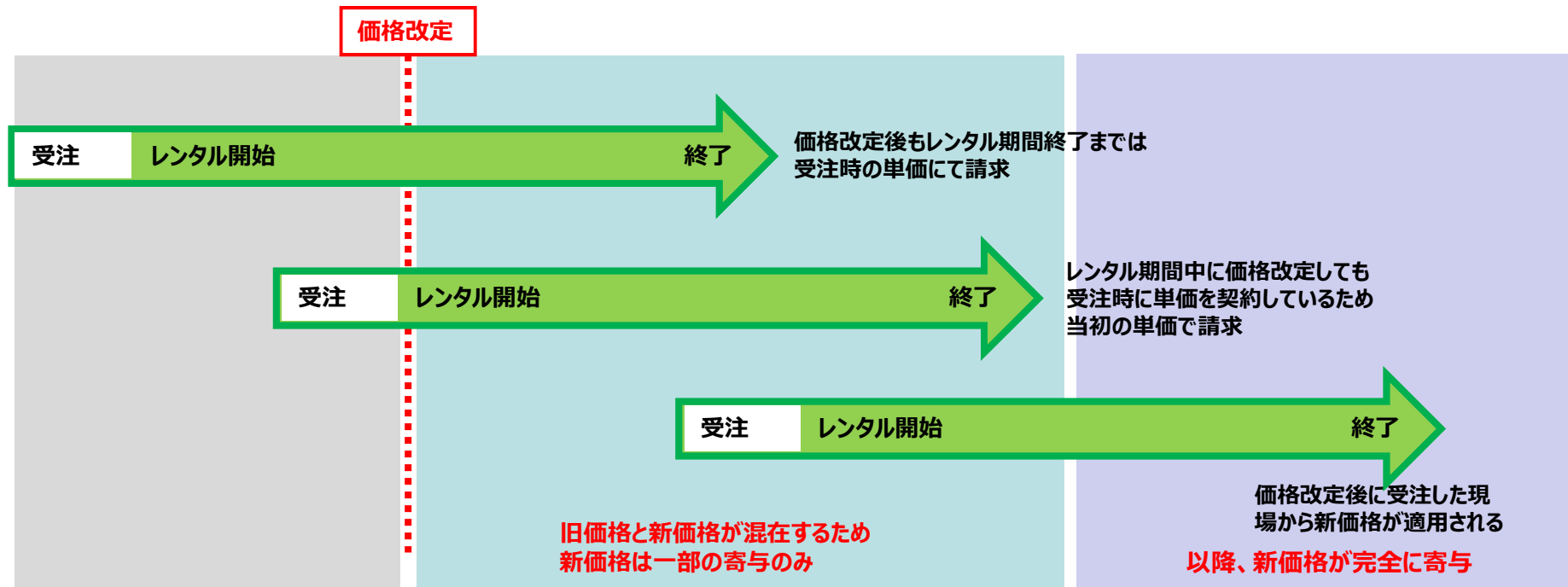
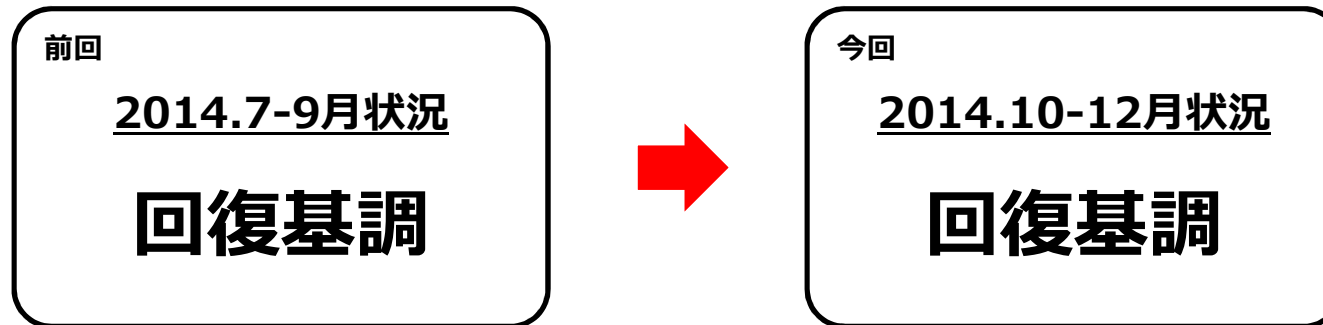
Iqシステムは継続的に仕入れ賃貸資産の入れ替えを進める。稼働は高く推移しており、レンタル受注現場は300現場を超える。

## セグメント別売上高 / レンタル関連事業 (会計期間)

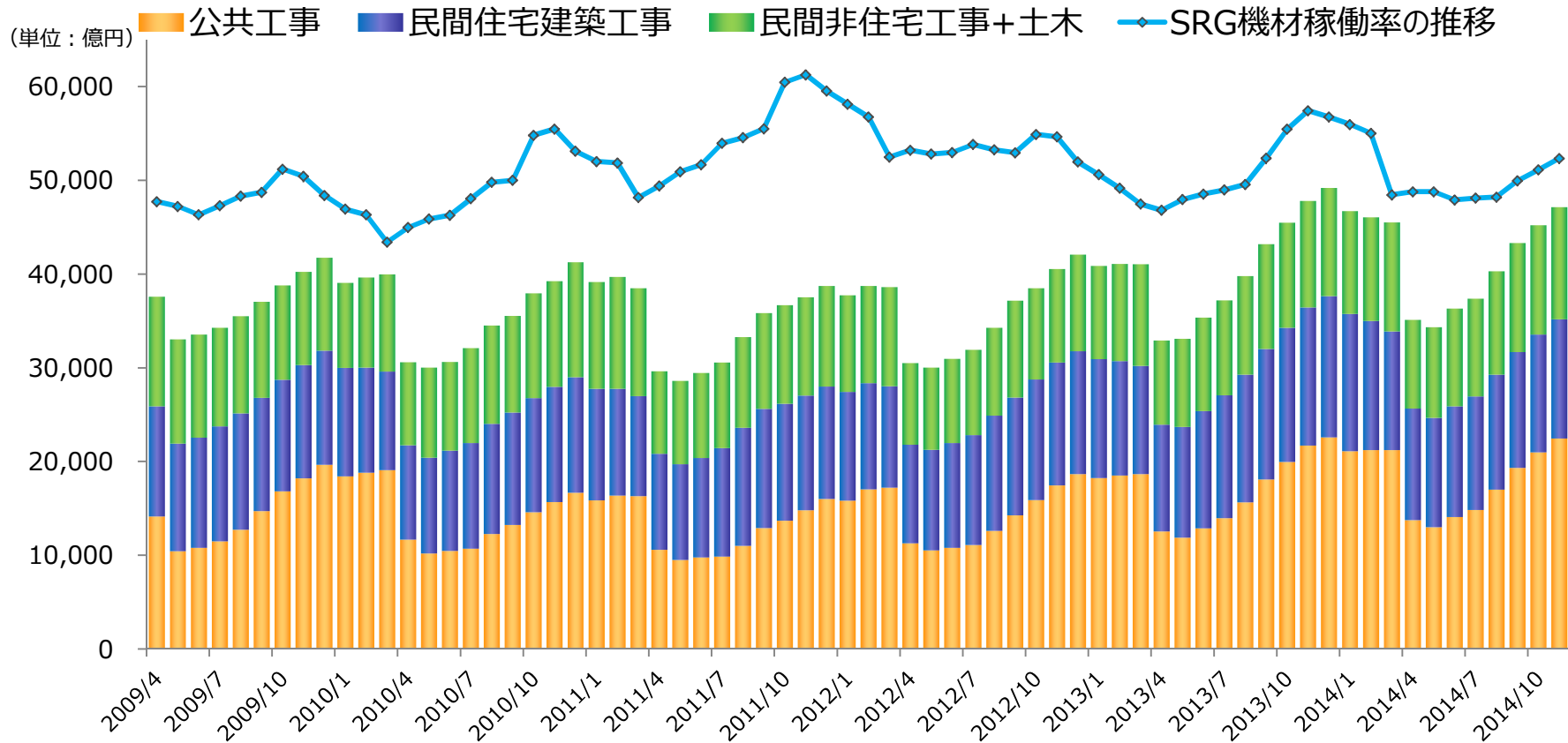




# レンタル事業価格動向



# 国内建設工事出来高と当社機材稼働率の推移

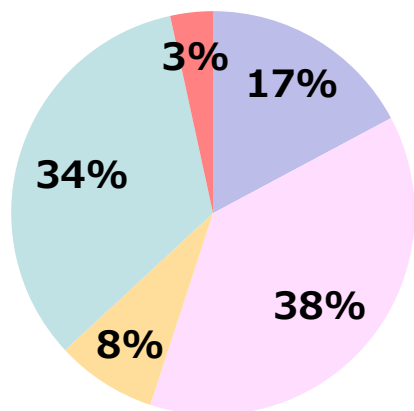


未消化工事	公共工事	民間住宅建築工事	民間非住宅工事+土木
2014年11月時点	169,107	44,060	73,437
2014年09月時点	176,186	43,619	74,849

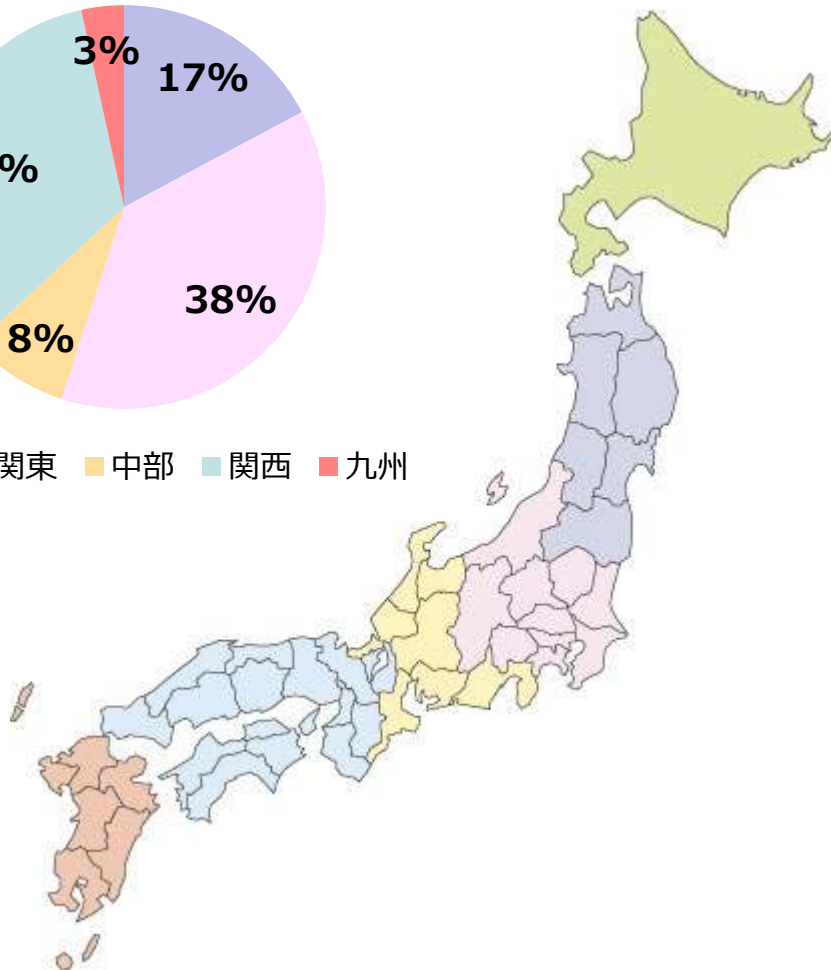
「国内建設工事出来高」、「未消化工事」：国土交通省 建設総合統計より

# レンタル事業 ブロック別売上比率と主要受注案件

レンタル売上構成比率



■ 東北 ■ 関東 ■ 中部 ■ 関西 ■ 九州



## 東北ブロック

- 復興住宅新築工事
- JR常磐線復旧工事
- 福島県瓦礫減容化工事

## 関東ブロック

- 圏央道橋梁工事
- 外環道橋梁工事
- 首都高橋梁修繕工事
- 新東名橋梁工事
- 中部横断道橋梁工事
- 集合住宅大規模修繕工事

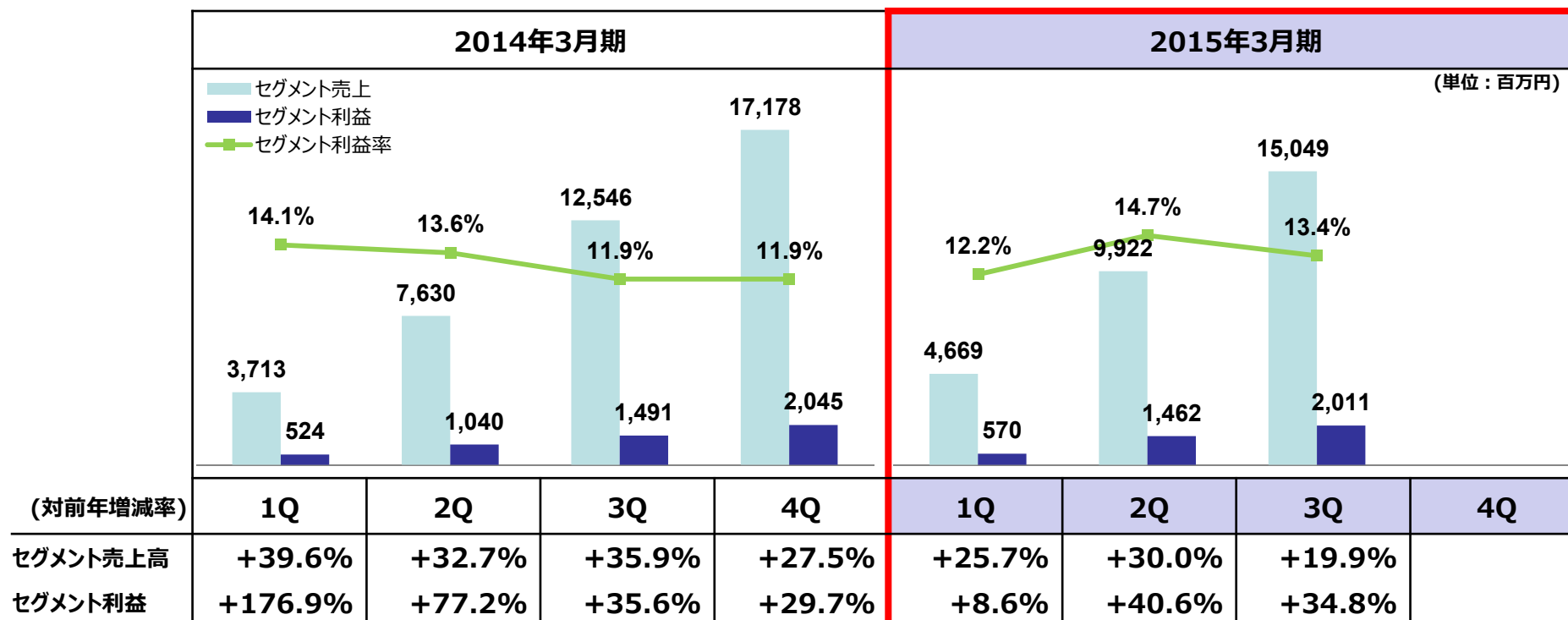
## 中部ブロック

- 中部横断自動車道橋梁工事
- 大型物流センター新築工事

## 関西ブロック

- 新名神高速道路橋梁工事
- 東海道新幹線橋梁修繕工事

## セグメント別売上高 / 販売関連事業（累計期間）



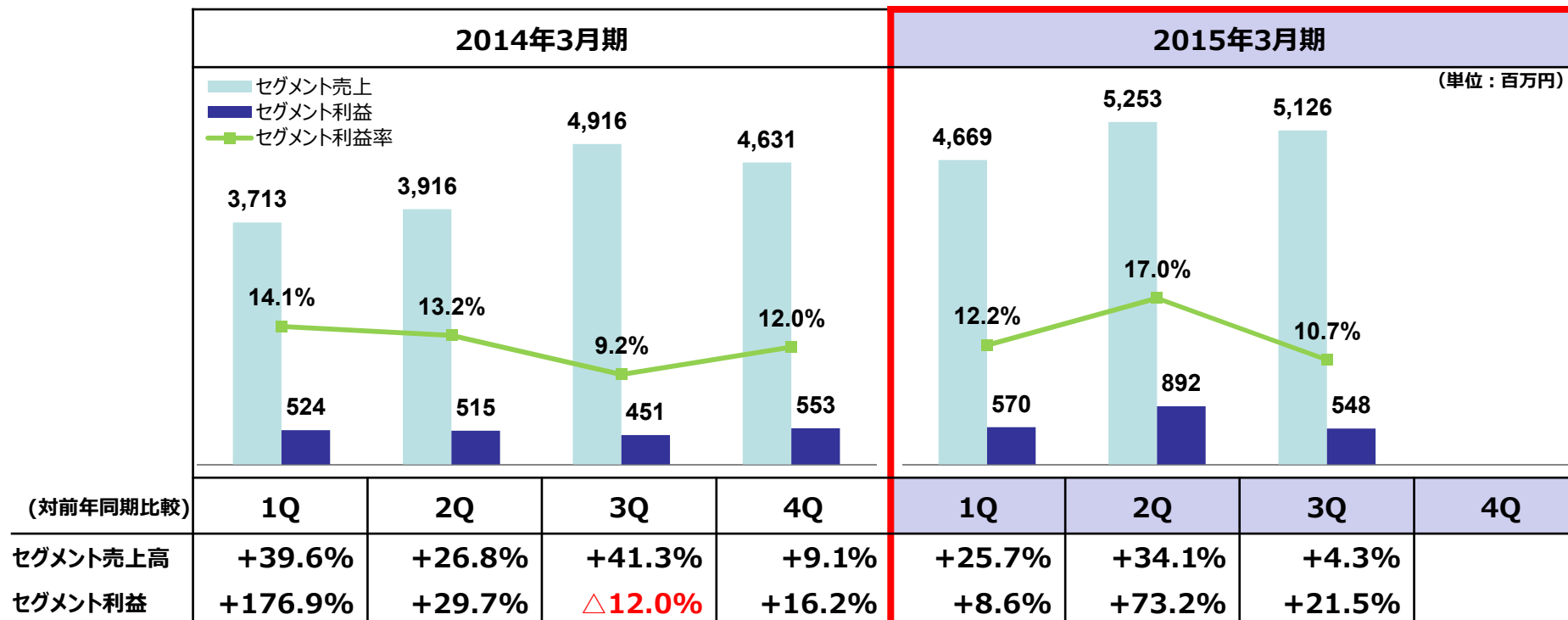
### 要因

建設現場における安全基準の強化により、クランプ・安全部材などの販売が好調に推移。

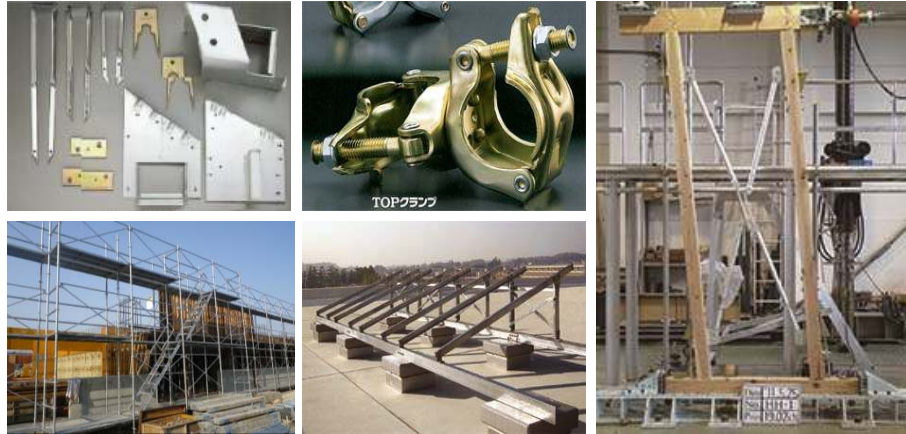
太陽光発電パネル設置用架台は、電力会社による買取保留の影響を受けるものの、着実に売り上げを伸ばす。

Iqシステムの販売が受注件数を伸ばす。同時に、賃貸資産の入れ替えに伴う従来品の中古売却を進める。

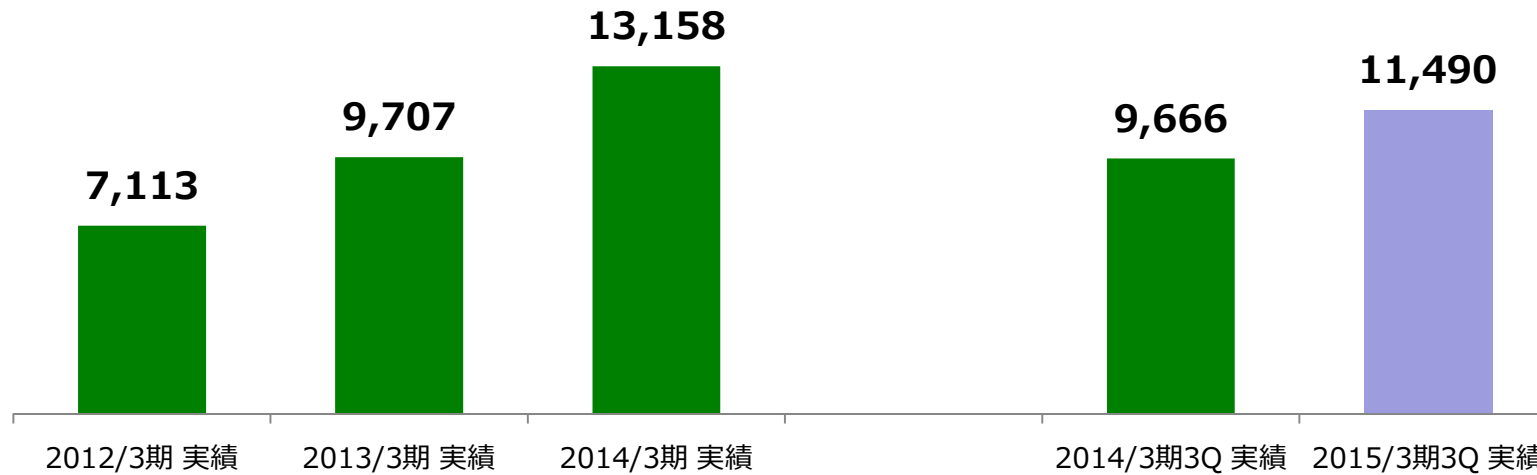
## セグメント別売上高 / 販売関連事業 (会計期間)



# ホリー株式会社 通期売上高推移



(単位：百万円)

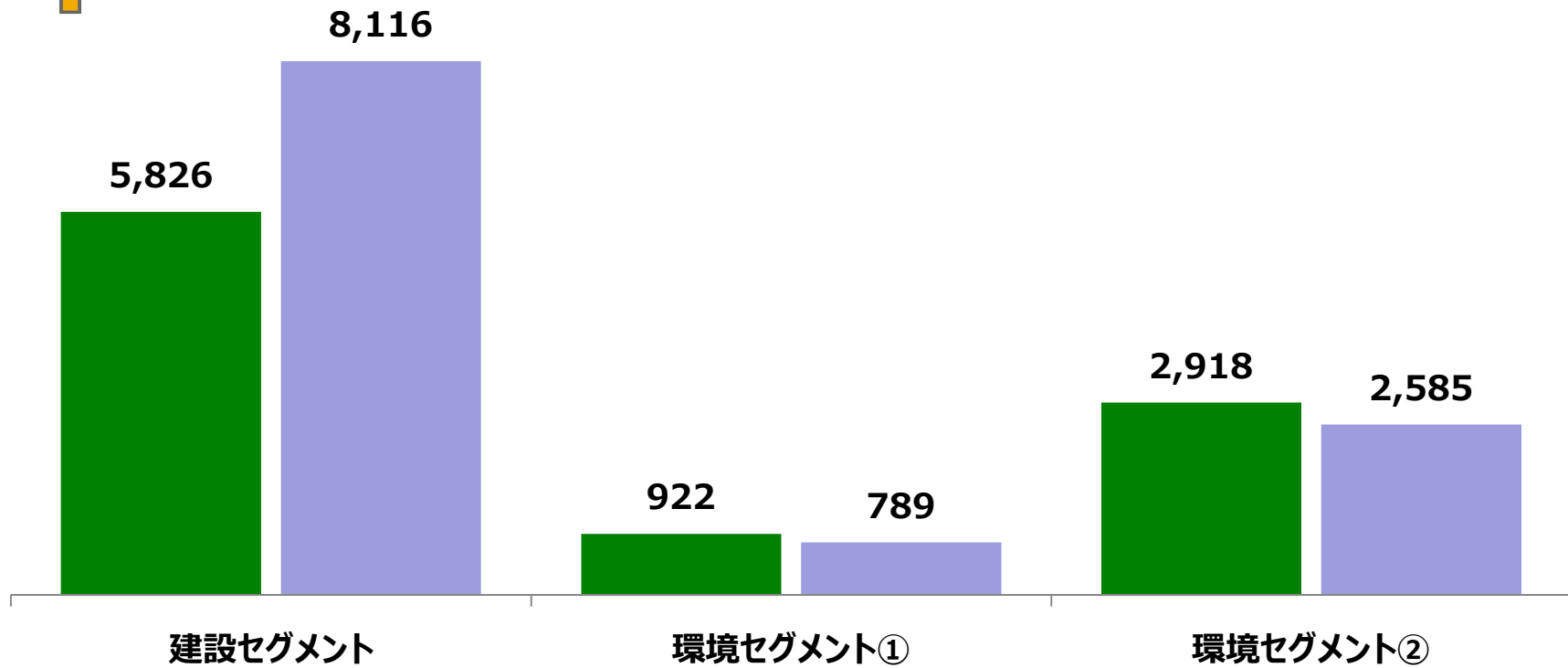


# 参考資料：ホリー株式会社 分野別売上高推移



■ 2014/3期3Q累計 ■ 2015/3期3Q累計

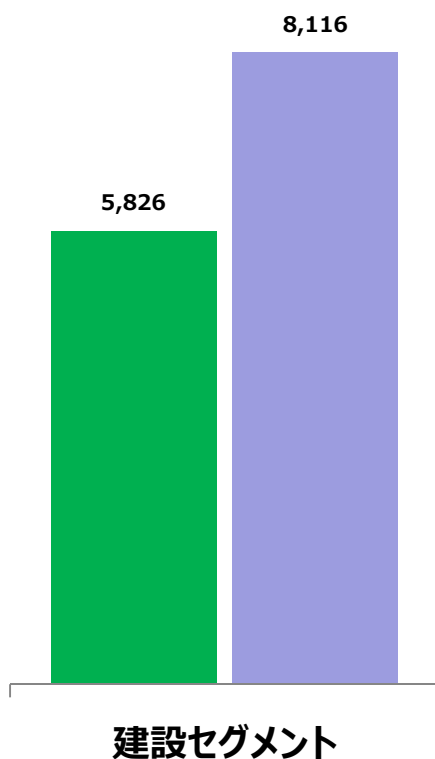
単位：百万円



# 建設セグメント

hory

(累計) ■ 2014/3期 3Q  
■ 2015/3期 3Q



緊結金具



パイプなどを緊結する為の金具で汎用性が高く、あらゆる工事現場で使用されることの多い機材。

安全機材



建設現場における作業従事者の墜落防止や周辺への落下物防止のための安全機材。

次世代足場「Iqシステム」



階高1,900mm、先行手摺1,000mm以上の新しい規格の建設作業用次世代足場。

主要なクランプ等仮設機材の出荷は、大手ホームセンター向け等の販売が落ち込むものの、堅調に推移。

安全機材については、現場の安全基準の高まりを受け、「アルスピーダー」「Z幅木」などの従来品に加え、新たな製品の投入を検討中。

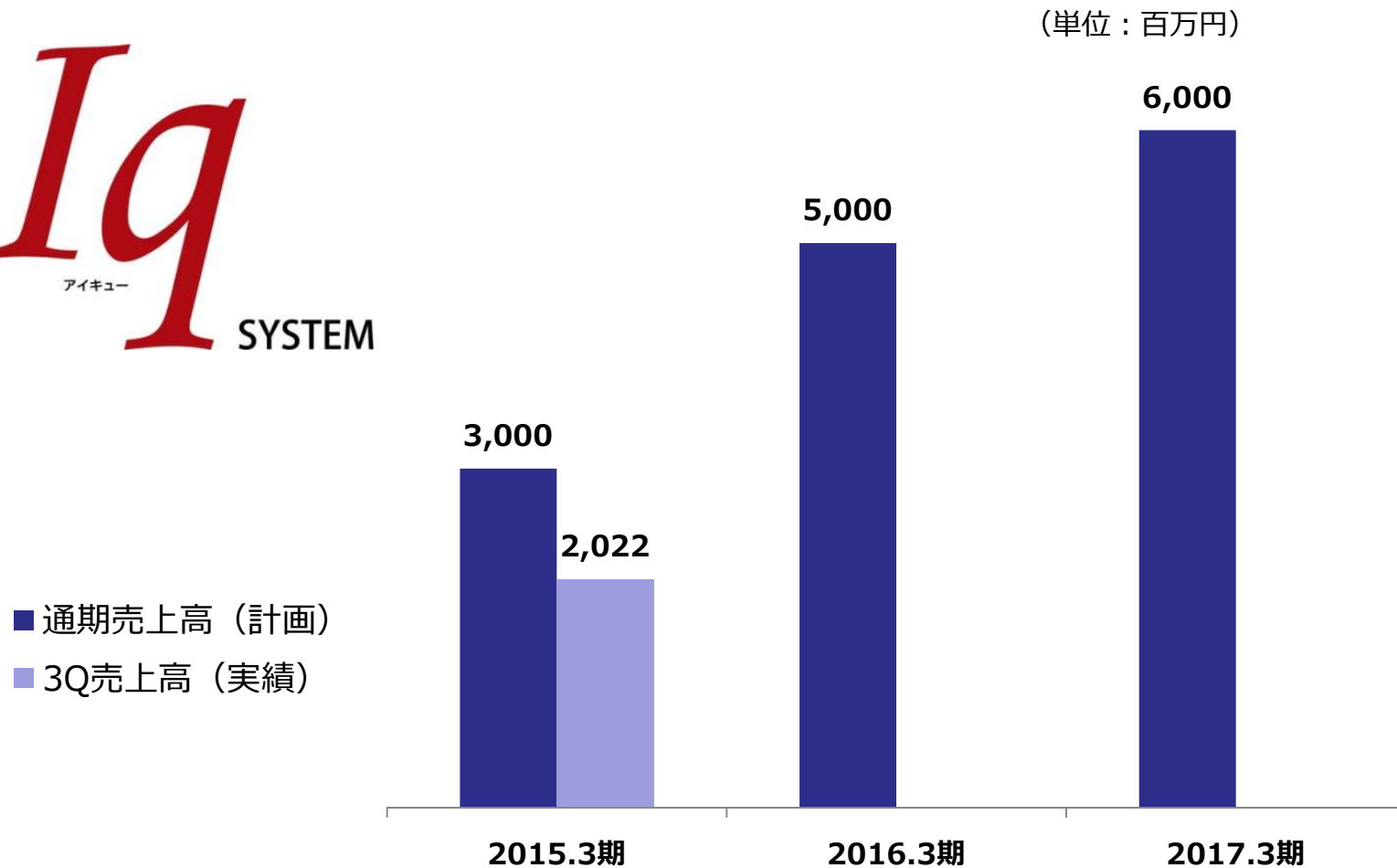
次世代足場「Iqシステム」も増産体制の構築を進める。市場シェアの確保も含め販路の開拓に注力。



## ホリー株式会社 Iqシステム販売進捗状況

**Iq**  
アイキュー  
SYSTEM

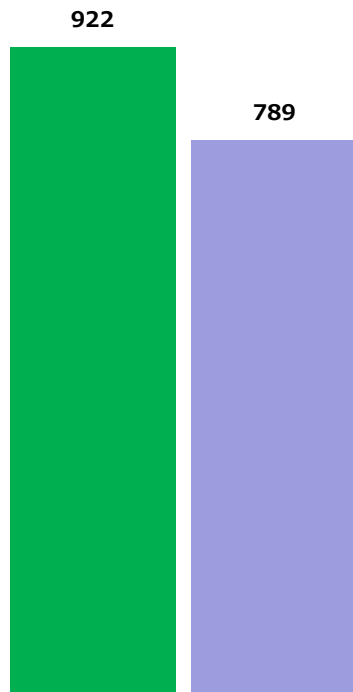
(単位：百万円)



## 環境セグメント①

hory

(累計) ■ 2014/3期 3Q  
■ 2015/3期 3Q



環境①セグメント

### 住宅用構造金物



住宅用のバルコニー部材、木造住宅用各種金物などに各種建材を製造販売。

### 住宅用制振装置



震災以降、住宅の耐震化率がたかまっています。耐震金物の他、ハウスメーカー向けの制振装置も製造。

### WUTEC-SF



ホリー社オリジナルの木造住宅用耐震・制震壁。国土交通大臣認定「壁倍率」を取得。新築、リフォームとも使用可能。

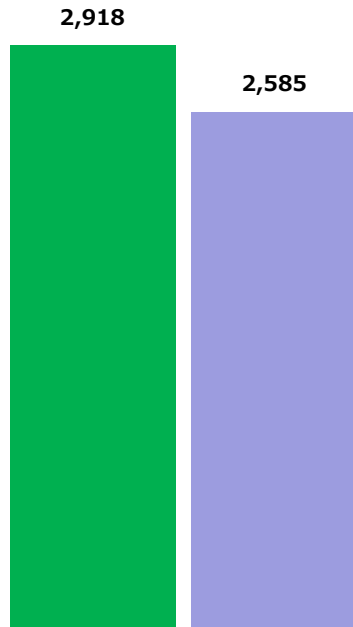
**構造金物は、新築住宅着工件数が減少しており、売上に影響を受ける。**

**制振装置は、大手ハウスメーカー向け商品の搭載率が前年と同水準で推移。自社オリジナル製品である「WUTEC-SF」は、木造軸組工法、2×4工法など品揃えの強化を進め、地場ハウスメーカー向けなどに販路開拓を推進。**

## 環境セグメント②

hory

(累計) ■ 2014/3期 3Q  
■ 2015/3期 3Q



環境②セグメント

住宅用架台



屋根金具専門メーカーとのタイアップで、パネルメーカー各社のサイズに対応できる為、高い評価を頂いております。

メガソーラー、産業用架台



仮設機材製造・設計技術を用いたユーザーニーズに応じた素早い対応力と新製品の開発で受注拡大による大幅な売上増加。

太陽光発電システム



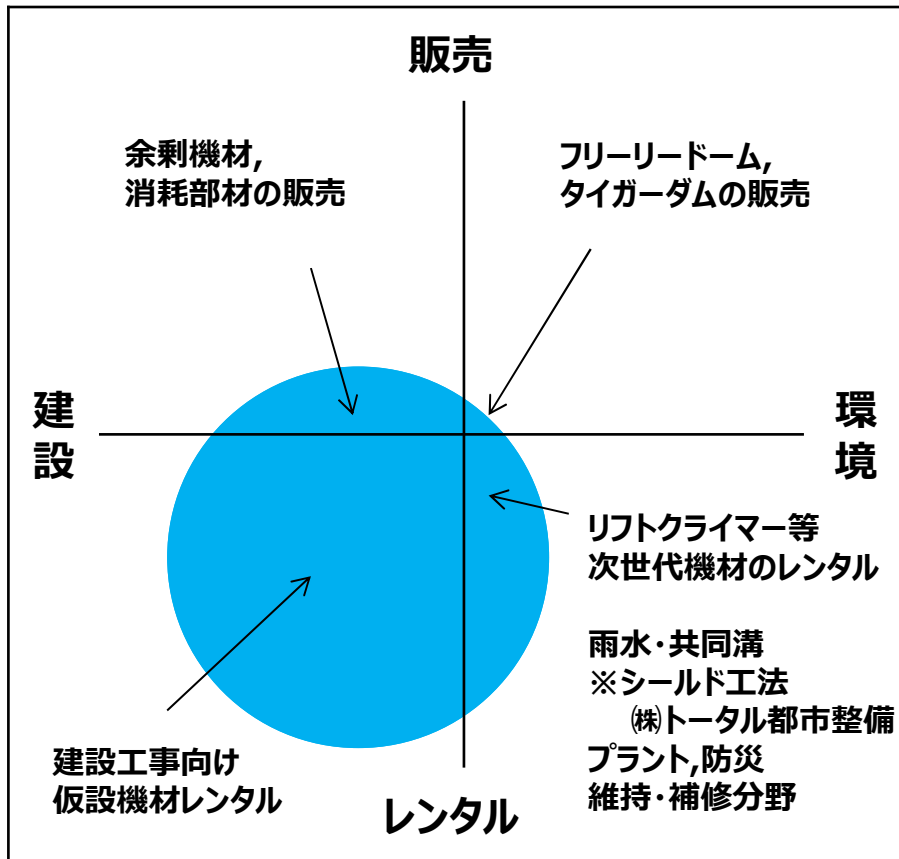
SRGタカミヤグループの仮設機材、工事、設計、運搬のネットワークを生かしたワンストップサービスを提供。

産業用メガソーラーは、電力会社の電力買取保留の影響を受けるものの、受注残を消化して前年比横ばいとなる。買取価格の値下げに対応し、コストや施工性を踏まえた新たな製品の発売を予定。

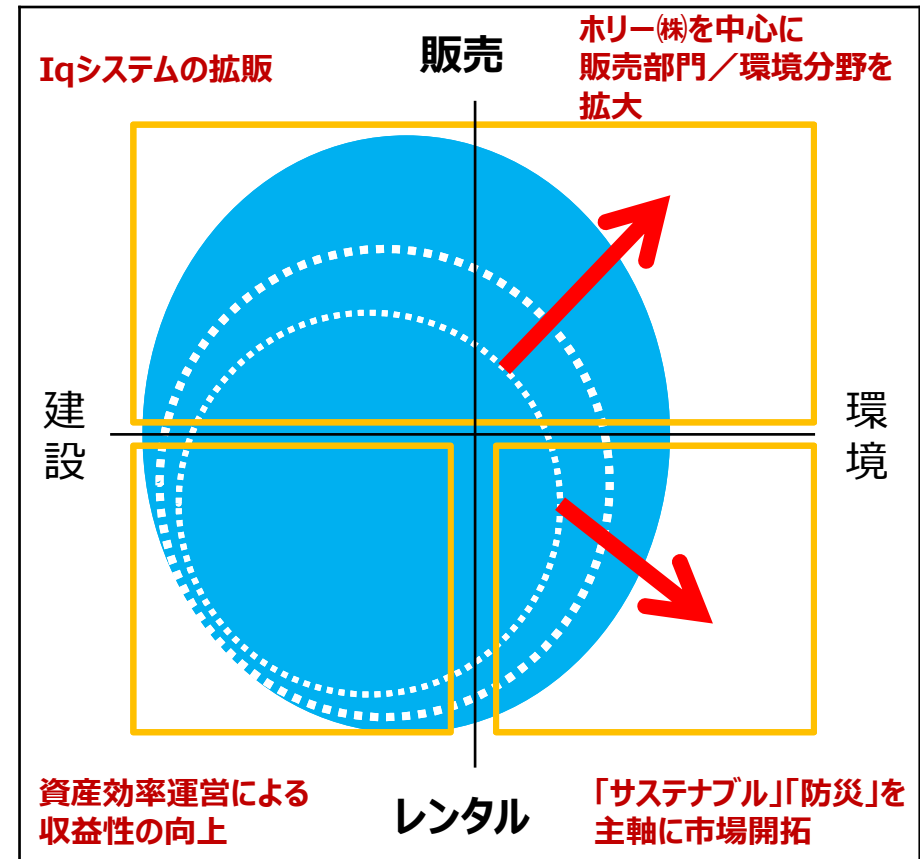
太陽光架台の製造・販売体制の再構築と同時に、太陽光関連以外の新規事業への取組みを進める。現在製品化に向けて準備中。

# SRGタカミヤグループ経営戦略イメージ

従来のSRGタカミヤグループ



SRGタカミヤグループ経営戦略



成長分野を明確にするためにセグメント別で戦略立案

## 今後の見通し

### 業界環境

- 社会インフラの再整備が全国的に波及
- 震災復興工事本格化
- 東京オリンピック開催決定による投資の活性化
- 発電所の新築、再整備（火力・原子力）
- 労働者不足と資材不足による工事進捗遅れ
- 消費増税による住宅関連設備需要の減少
- 電力会社の受け入れ保留に伴う太陽光発電設備工事の減少

## 2015年3月期 連結業績予想（累計期間）

（単位：百万円）

	2014年3月期（実績）		2015年3月期（予想）	
		売上高比率		売上高比率
売上高	32,443	—	36,030	—
営業利益	3,051	9.4%	3,840	10.7%
経常利益	3,006	9.3%	3,700	10.3%
当期純利益	1,768	5.5%	2,227	6.2%
1株当たり当期純利益	39.63円 ※		49.66円 ※	

※ 2015年1月1日付で1株につき2株の株式分割を行っており、当該株式分割を考慮して算定しております。

## 配当の状況

株式分割 (1→2) 2013/4



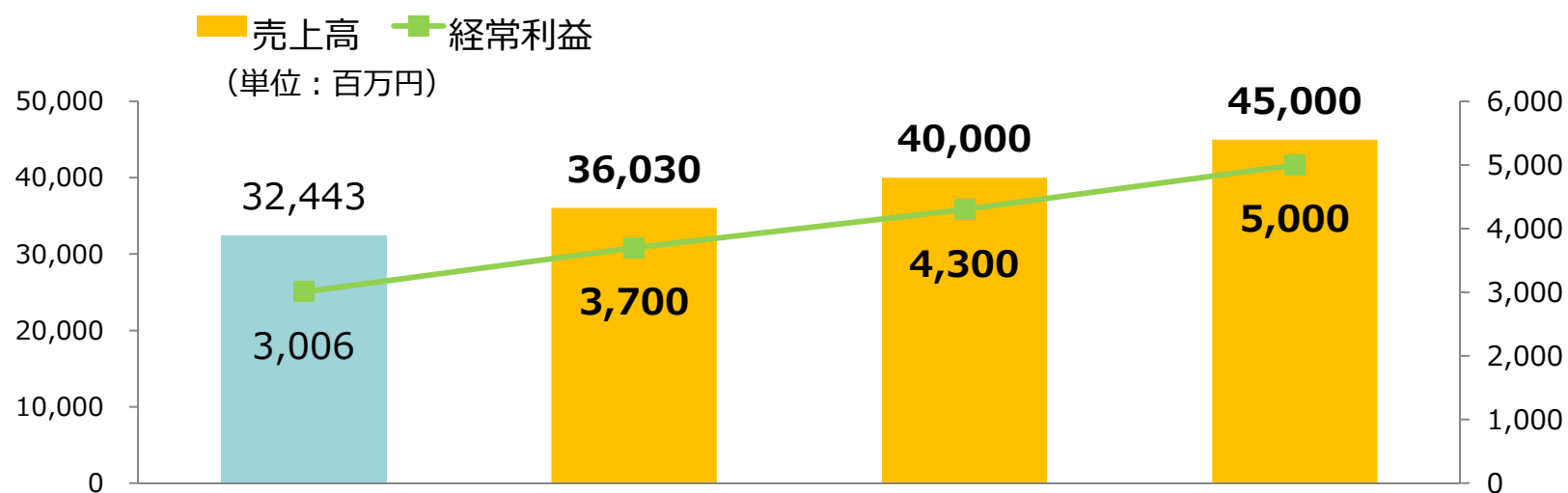
株式分割 (1→2) 2015/1



	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期 予想
<b>配当金</b>	<b>20円</b>	<b>20円</b>	<b>20円</b>	<b>13円</b>	<b>16円</b>
内訳) 1Q	-	-	-	-	-
2Q	-	-	-	5円	7円
3Q	-	-	-	-	-
4Q	20円	20円	20円	8円	9円 ※普通配当6.5円 記念配当2.5円
<b>配当金額総額</b>	<b>216百万円</b>	<b>214百万円</b>	<b>214百万円</b>	<b>290百万円</b>	-
<b>配当性向</b>	<b>71.7%</b>	<b>28.6%</b>	<b>26.6%</b>	<b>16.2%</b>	-

※2013年4月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。/2015年1月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。  
 ※2015年3月期の期末配当金にて東証一部指定に伴う2.5円の記念配当を実施します。

## 参考) 中期経営計画業績目標



	2014/3期 実績	2015/3期	2016/3期	2017/3期
売上高	32,443	36,030	40,000	45,000
営業利益 ①	3,051	3,840	4,400	5,200
経常利益	3,006	3,700	4,300	5,000
当期純利益	1,768	2,227	2,600	3,100
経常利益率	9.3%	10.3%	10.8%	11.1%

減価償却費(CF) ②	3,369	3,750	4,480	4,780
EBITDA (①+②)	6,421	7,590	8,900	9,990



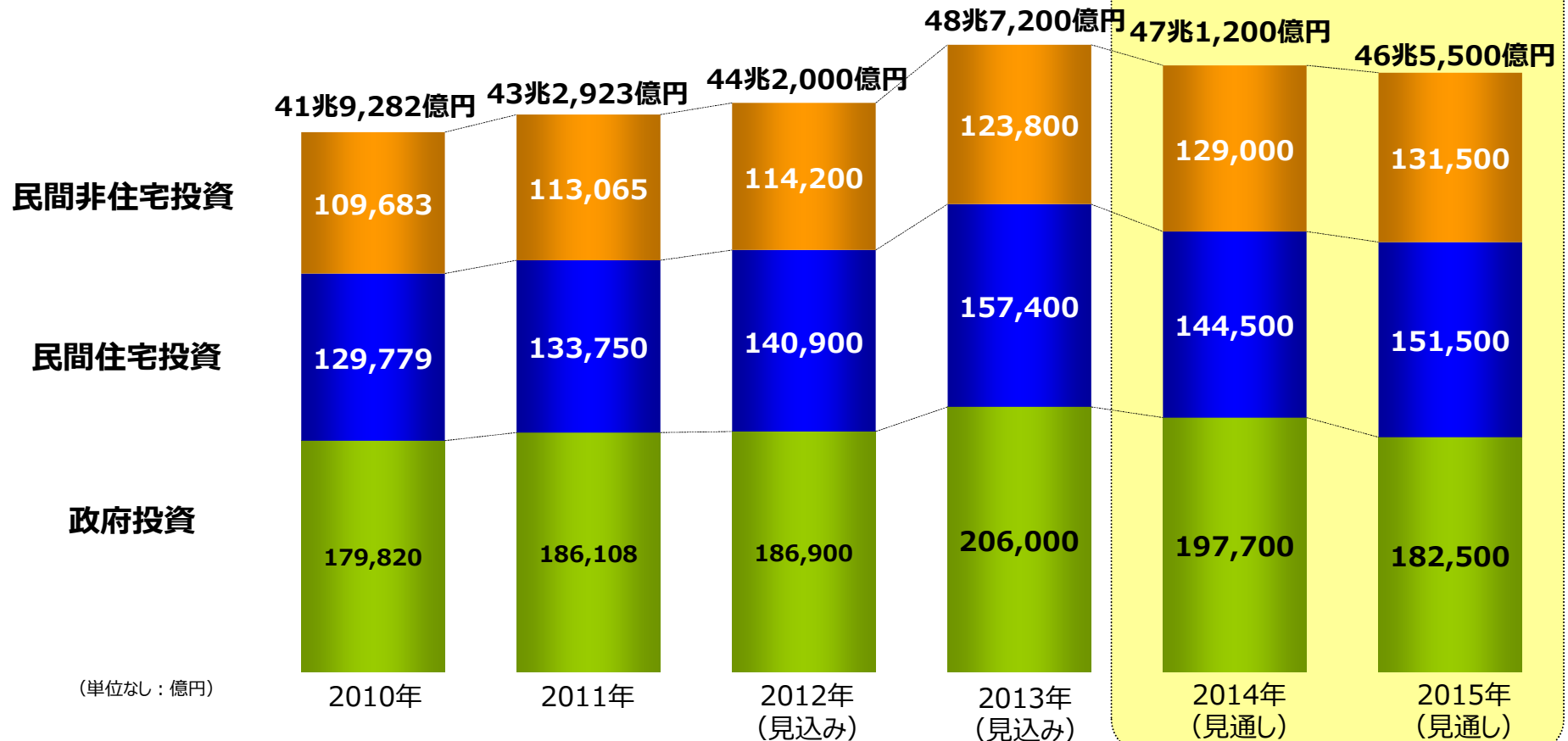
# 参考資料

# 国内建設投資額推移

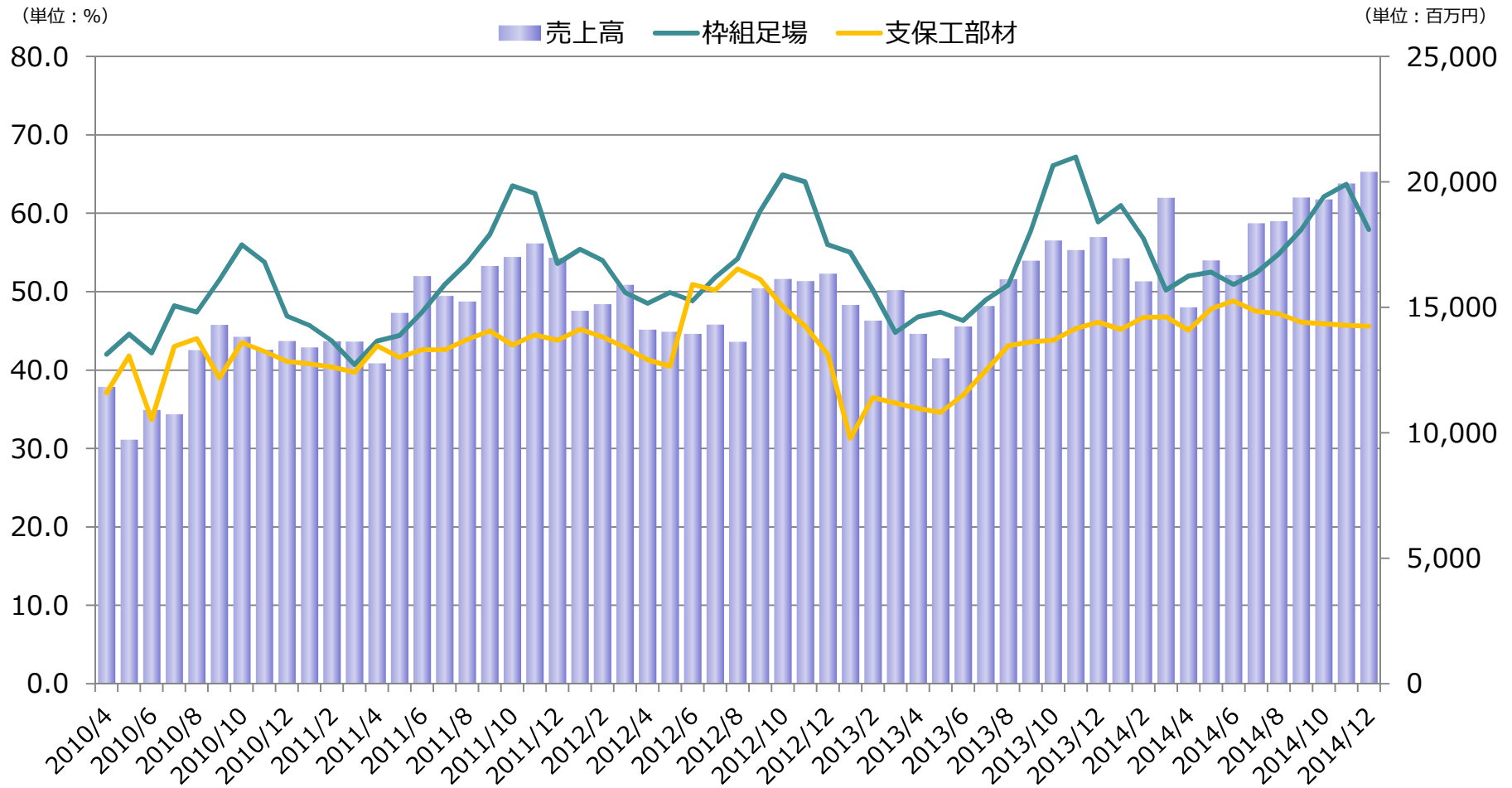
建設経済研究所 2015年2月発表資料

減少の見通しではあるものの2012年度を超える水準を維持

2014年度は **3.3%減少**  
2015年度は **1.2%減少**  
の見通し



# 軽仮設リース業50社の機材稼働率と売上高の推移

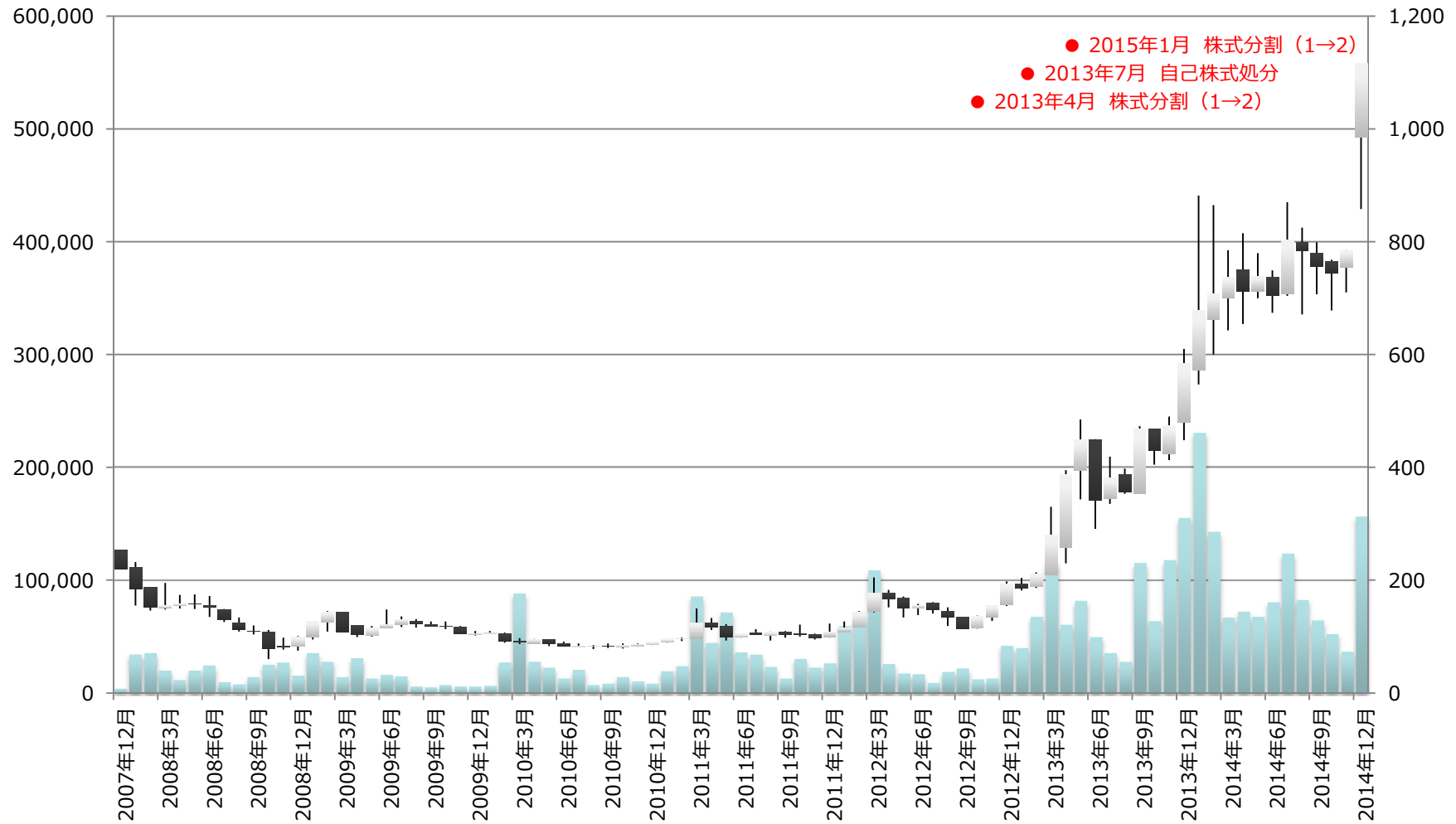


出所：国土交通省「建設機械器具リース業等の動態調査時系列」を加工

# 2445.T SRGタカミヤ 株価推移

一日平均出来高

株価



## 連結業績の推移

(単位：百万円)	2009/3期	2010/3期	2011/3期	2012/3期	2013/3期	2014/3期
売上高	15,338	14,530	17,490	23,201	28,113	32,443
営業利益 ①	1,797	678	722	1,037	1,605	3,051
当期純利益	513	337	302	755	807	1,768
総資産	24,958	25,283	29,594	32,472	33,987	37,245
純資産 (自己資本)	5,543	5,679	5,738	6,380	7,110	9,758
減価償却費(CF) ②	2,487	2,602	2,745	3,088	3,280	3,369
EBITDA (① + ②)	4,284	3,280	3,468	4,126	4,886	6,421
	2009/3期	2010/3期	2011/3期	2012/3期	2013/3期	2014/3期
ROE (株主資本利益率)	9.5%	6.1%	5.4%	12.7%	12.2%	21.5%
売上高純利益率③	3.3%	2.3%	1.7%	3.3%	2.9%	5.5%
総資産回転率④	0.61	0.57	0.58	0.71	0.83	0.87
ROA (③ × ④) (総資産利益率)	2.1%	1.3%	1.0%	2.3%	2.4%	4.7%
財務レバレッジ	4.50	4.45	5.21	5.09	4.78	3.82

※ROE算出の際の株主資本は期初と期末の平均値を使用しています。

# IRコンタクト

エスアールジータカミヤ株式会社 経営企画室 広報・IR課：川畑・宮崎

電話番号： 06-6375-3918

ファクシミリ： 06-6375-8827

当社IRサイト <http://www.srg.jp/ir/index.php>



HP： <http://www.srg.jp/>

E-mail： [ir@srg.jp](mailto:ir@srg.jp)

住所： 〒530-0011 大阪府大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪 タワーB27階

本資料は、2015年3月期決算に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

また、本資料は一部を除き2014年12月31日現在のデータに基づいて作成しております。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、安全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更させていただくことがあります。